

ついに会報第100号!

現在の「駒場松桜会会報」の第1号は、戦後間もない昭和24(1949)年に「都立第三高女同窓會會報」として刊行されました。その後、様々な形で同窓会会員の方々にお届けして68年の歳月が流れ、今回記念すべき第100号の発行となりました。

これを機に広報部員総出で第1号から読み返してみたところ、それぞれの時代に沿った感慨深く興味深い記事が沢山見つかりました。

今回は第100号を記念し、増ページでお届けいたします。

第1号から第99号までの会報



第100号

2017年4月1日発行

一般財団法人
駒場松桜会

都立駒場高校同窓会

〒153-0044
目黒区大橋2-18-1
都立駒場高校内

TEL/FAX

03-3466-7579
(毎月曜日の業務日
以外は留守番電話)

携帯電話からも住所
変更ができます。



住所変更専用
QRコード

★過去の会報はホームページ
から「事業内容」↓「駒場
松桜会会報」でご覧いた
けます。

昭和24年発行の「同窓会便り」第一号一面
戦後初の会報とあって、紙面の多くが「諸先生の御消息」に割かれています。
当初は学校長が同窓会理事を兼任なさり、その後昭和41年4月からは卒業生が理事長を務めています。

(1) 都立第三高女同窓会會報 (代 理 第)

同窓會便り 一 号

御挨拶 長谷 邦雄
理事 長谷 邦雄
同窓会の歴史を振り返る。昭和24年発行の「同窓会便り」第一号は、戦後初の会報とあって、紙面の多くが「諸先生の御消息」に割かれています。当初は学校長が同窓会理事を兼任なさり、その後昭和41年4月からは卒業生が理事長を務めています。

現職員御紹介 (五十音順)
会長 長谷邦雄(東京) 幹事 長谷邦雄(東京)
副会長 長谷邦雄(東京) 庶務 長谷邦雄(東京)
会計 長谷邦雄(東京) 文書 長谷邦雄(東京)
広報 長谷邦雄(東京) 総務 長谷邦雄(東京)
経理 長谷邦雄(東京) 庶務 長谷邦雄(東京)
文書 長谷邦雄(東京) 広報 長谷邦雄(東京)
総務 長谷邦雄(東京) 経理 長谷邦雄(東京)

三木校の紹介 三木校は、昭和24年(1949年)に創立された。校舎は、三木町の山間にあり、緑豊かな環境に恵まれている。校舎は、三木町の山間にあり、緑豊かな環境に恵まれている。

昭和24年度経費収支表
収入 57,503.70
支出 15,030.50
繰越金 42,473.20

松桜会会報が皆さまのお手元に届くまで
現在、年2回発行している会報は、松桜会広報部員7名と事務局を中心に会員の皆さまの協力を得て作成しています。
特に3月下旬、8月下旬にそれぞれ約1週間にわたり行われる1万9千通に及ぶ会報の発送

会報作成の流れ

- 1) 広報部企画会議
理事会に報告
- 2) 寄稿原稿の依頼
- 3) 原稿取材と作成
- 4) 入稿と校正
校正担当会
員及び広報
部員による
校正(初校
3校、校
了)
- 5) 印刷・納品
- 6) 事務局にて
宛名印刷
- 7) 発送
会員による
封入・発送
作業

企画会議
封入・発送作業

作業には延べ数十人の会員の方にご協力いただいております。
松桜会では発送期間中のご都合のつく時間だけでも、封入・発送作業にご参加いただける方を募集しています。詳細は松桜会事務局までお問い合わせ下さい。

号	発行年月	主な記事
1	49春	・発行の辞 同窓会理事長(長倉邦雄先生) ・仰光寮をクラス會場に:使用料お一人十圓頂戴いたします ・国民体育大会に同窓生出場 ・校名 駒場高校と決定 ・牧野記念館の意義
2	49秋	・皆様の御尽力の結晶は遂に70万円と念切りました。 ・仰光寮移築工事近況、不足額30万円再募集 ・創立五十周年記念式典に参列して ・皇后様より特旨を賜る ・仰光寮落成記念同窓会臨時総会開かる
3	50	・「松桜会の誕生」三校会、三駒会、仰光会、眞玉会、松桜会等の中から絶対多数のご賛成があり、決定しました ・新築なった母校校門 ・事業報告:結婚相談所開設に就いて ・親交の炎(長倉邦雄先生) ・自向自解(及川貞・馬野木同人) ・幼稚園の事 ・戦後初の「会員消息欄」 ・木下先生を囲む音楽会 ・講堂兼体育館落成関連寄稿 ・第三回アジア大会にコチロン出場 ・初代小林益校長先生胸像移築関連寄稿 ・一変する母校駒場の面貌 ・六十周年を控えて特別校舎は4階建 ・都立駒場高等学校創立六十周年記念誌 ・創立六十周年記念式典 ・生徒ホールの建築始まる ・五百五十名の大集団 修学旅行 ・駒場幼稚園創立10周年
4	51	
5	51	
6	51	
7	53	
8	54	
9	55	
10	56	
11	57	
12	58	
13	59	
14	60	
15	61	
16	62	
17	63	
18	63	
19	64	
20	65	

世界に広がる駒場松桜会

第三・駒場同窓生の輪

駒場松桜会では、海外在住の同窓生約100名の皆さまにも年2回、駒場松桜会会報を国際郵便にてお届けしております。このたび記念すべき会報第100号の発行にあたり、海外在住の皆さまにアンケートをお願いし、そのうちご回答をいただいた方々のメッセージをご紹介します。(2016年末実施)



2016年1月の「音楽の会」の持ちより新年会、私宅にて。前列右から2人目、お赤飯の前にいるのが私。後列右から6人目(灰色のセーターにメガネ)が竹井明美さん。

Essay Contestの審査員。

年例会でbreakout speakerを務め、'07年バンクーバーで開催の年例会の委員長を務め、過去2年間英語圏最大を誇るJASNA Essay Contestの審査員。

57年東京女子大英米文学部卒業後渡加し結婚。二男一女の母。トロント王立音楽院の教師試験に合格し和音、対位法、音楽史、音楽分析等を46年間教授。'89年当地バンクーバーのUniversity of British Columbia大学院英文学科に入学。ジェーン・オースティンを研究。MAの学位を受けて感じた事は勉強したいなら学校に(大学院でさえ)頼らず自分で読書すべしという事。それより前、'81年に北米ジェーン・オースティン協会(通称JASNA)に入会し、その年刊誌にエッセイを寄稿し、

カナダ
パーカー敬子(旧姓 木村)
(駒5)

'93年から9年間Shakespeare Society of Vancouverの月刊ニュースレターの副編集長。教職引退と夫の死後ジェーン・オースティンの作品翻訳を目標に『エマ』と『説得』は近代文藝社から近年出版。第三作『マンスフィールド荘園』は今年3月出版予定。

'98年より当地の日系女性の為に「音楽の会」を主催、'11年より「ジェーン・オースティンを英語で読む会」を主催し今日に至る。長男ジョン・キムラ・パーカーはリーズ国際ピアノコンクール金メダル受賞。次男ジェイミーはトロントスター紙で「カナダの国宝」と呼ばれたグリフィン・トリオのピアニスト。2人共大学教授を兼ねて演奏活動に忙しい。

'16年11月に、46年の音楽教師としての功績を認められ、トロント王立音楽院より第1回 Teacher of Distinction Awardを受賞。

竹井明美(旧姓 飯塚)(駒21)

昨年、州立カレッジを退職して26年間の日本語教育に終止符を打ちました。仕事と家庭との往復生活から解放され、コース、音楽サークル、読書会、茶道などと忙しい毎日で。

バンクーバー生活も36年、異言語、異文化の中で過ごす年月の方が長くなりました。くしく

44	43	42	41	40	39		38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25		24		23	22	21			
'89	'88	'87	'86	'85	'84		'83	'82	'81	'80	'79	'78	'77	'76	'75	'74	'73	'72	'71	'70		'69		'68	'67	'66			
3	7	7	7	7	7		7	7	6	6	6	6	6	3	3	3	3	3	3	3		3		3	3	3			
・「駒場松桜会」の歴史	・料理の道へ 川上のお(23南)	・駒場の歌声 久保田洋(駒22)	・源氏物語(椿市の邂逅) 末松三郎先生	・夏目漱石年譜 坂本育雄先生	・第三から駒場まで 渡辺謙先生		・おほかで真面目な校風を更に生かして ：細野重陽校長着任挨拶	・創立八十周年記念式典にあたって	・小林孟先生と今の私 小森和子(23中)	・生涯教育について 菱刈隆永先生	・年会費値上げについて 五百円→千円	・仰光寮落成の思い出 善方みよ子(31西)	・駒場四分の一世紀 菱刈隆永先生	・年会費納入状況	・最近3か年の大学合格状況(連載開始)	・新名簿発行について	・最新の母校前庭	・新しい母校体育館	・海外視察雑感 学校長松桜会顧問鈴木満令	・コチロンと近代生活 小貫房枝先生	・新しく門出する都立芸術高等学校	・保健体育科20周年記念式典盛大に行われる	・一部生徒の教室封鎖の経過概要	・変貌していく駒場	・男子系の同窓会とは違った雰囲気	・国体から 東京都皇后杯獲得に駒場OG活躍 平島OB四百mリレー優勝!	・「広島にアジア学生文化会館建つ」館長 諸井光子(旧職員)	・学校群の中の駒場高校	・芸術科の独立問題について
駒41	駒40	駒39	駒38	駒37	駒36		駒35	駒34	駒33	駒32	駒31	駒30	駒29	駒28	駒27	駒26	駒25	駒24	駒23	駒22		駒21		駒20	駒19	駒18			

も、当地では5人の駒場同窓生が音楽、文学を通してつながっています。

独立自尊の精神、趣味を共有する先輩後輩とお会いしては、お喋りに花を咲かせています。

清水正子(旧姓 中村)(駒24)

卒業後、羽田からバンクーバーにやってきて、すでに40年。まだ成田空港はない時代。大手旅行会社社に11年勤務、カナダが一番人気があつた頃でした。



入社当時の

オフィスはテレックスから始まり、ファックス、ワープロ、そして最後はパソコンになり、ちょうどマウスに切り替わる頃でした。

海と山に囲まれた自然と調和したバンクーバーの美しさは、本当に綺麗です。ある日、友人宅でパーティーのお手伝いを一緒にしていた女性とお喋りしていたら、東京の方で、学校は？都立？学区は？駒場というところがわかり、2人で盛り上がりましてしまいました。その後、バンクーバーに少なくとも大先輩の方々が5名はいらっしゃることがわかり、近日にバンクーバー駒場会(仮)と称して集まる予定です。

アメリカ

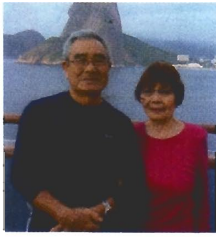
Joe Adler (飯田五百重)(駒3)

ロサンゼルス在住

'58年にカリフォルニア州ロサンゼルス市に着いて以来、東京にはちよくちよく行き来しています。ロスを生活の拠点としています。主人のシーモアと恋をして結婚し、子供2人と孫5人に恵まれて、幸いに思っております。仕事は宝石デザインで東京と港区に宝石店を開いたこともありますが、今は完全に引退をし、主人を亡くし53年同じ家に住んでいます。

中沢節子(旧姓 山口)(駒4)

主人がカリフォルニア大学院入学、私も'59年に渡米。もう少しアメリカを見たいと働くビザを取り、サンフランシスコの東京銀行後、のちG.T.Muthという有名な東洋美術を扱う店に勤め、シャーリーテンプル夫人、Barbara Hutton (ウールワース相続人)などを客としました。2年ほど勤めた後妊娠し、ここでは主人は土・日は休み、週日も5時半に家に帰れることを考え、楽しい家庭生活が出来るので、アメリカに住むことにしました。幼稚園小学校でのボランティア



ボランティア

ア、ガールスカウトのリーダーなど務めました。

よく働き、よく遊び、創造的で思いもよらない親切なアメリカ人に囲まれて、楽しい安全な57年でしたが、今はテロ、リフジー、人種差別などいろいろ難しい問題に面しています。

主人と共に世界中を何度も旅行し、クルーズ船では700日を過し、これからも、まだまだ旅を楽しむ予定です。来週日本行のクルーズ、アラスカ周りで立ちます。

藤本篤子(旧姓 小野)(駒6)

'58年に国際基督教大学卒業後フルブライトでカリフォルニア大学ロスアンゼルス校(UCLA)に留学。'62年生化学でPH.D取得後、UCLAの医学部で研究中、医学に興味を持ちUCLAの医学部に入学。'69年卒業後Los Angeles County-University of Southern California Medical Center (LAC-USC)にて小児科と臨床遺伝学の研修をした後、専門医として勤務し、'06年遺伝科のチーフの職を退任。現在はLAC-USCの晩餐会



在はLAC-USCの晩餐会

70	69	68	67		66	65	64		63	62	61	60		59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49		48	47	46	45			
'02	'01	'01	'00		'00	'99	'99		'98	'98	'97	'97		'96	'96	'95	'95	'94	'94	'93	'93	'92	'92	'91		'91	'90	'90	'89			
4	9	4	9		4	9	4		9	3	9	3		9	3	9	3	9	3	9	3	9	3	9		3	9	3	9			
・ 母校創立百周年を祝う	・ 創立50年、駒場の伝統に育まれた保体科、	・ 百周年プレ祝祭音楽会開催	・ 創立百周年記念行事実施内容固まる		・ 駒場高校として50周年第1回	・ 「コチロンを踊る会」初めての合宿	・ 創立百周年記念行事実施内容固まる		・ 長野パラリンピック 松江美希さん(駒44)	・ 母校サッカー部全国大会出場	・ 母校の変遷 第三から駒場へ最終回	・ 母校の変遷 第三から駒場へ 第1回		・ 駒場に移転して50年 校舎の歴史をふりかえる	・ 校舎竣工の式典挙行	・ 「過去・現在・未来」桐島洋子さん(駒8)講演	・ 仰光寮への想いをこめて皆様の「署名、鈴木都知事のもとへ	・ 松桜会の活動 ―その領域拡大を考える―	・ 「都立は変わる いま駒場が新しい」を掲げて	・ 我が柔道―バルセロナへの道 田辺陽子(駒36保)	・ 變え立つ新校舎 ―第一期工事成る	・ 九十周年記念音楽会、記念祝賀会	・ 時重なりて90周年	・ 総会とコチロンと		・ 校舎に別れを ―総会に多数の同窓生集う―	・ 新校舎建設 ―解体から第一期工事へ―	・ 校舎の変遷 ―麻布北日力窪から駒場の丘へ	・ 二十一世紀を目指す新校舎の建設	・ 思い出多き学舎に名残を惜しみつつ	・ 「乞」来場 駒場学園祭に松桜会も参加	・ 懐かしの麻布キャンパスに集える。第三高女生、
駒54	駒53				駒52		駒51		駒50		駒49			駒48		駒47		駒46		駒45		駒44				駒43		駒42				



このアメリカ
カへの転任
以前、'80年か
ら'84年までは
東京に在住し

JSCの病院にボランティアで週3日出て、クリニックで遺伝病の患者さんを診たり医学生や研修医に遺伝学の講義をしています。

趣味はマラソンで、84年に河口湖マラソンを3時間28分で完走しました。主人と世界中旅行して、南極にも行きました。孫の1人がUCLAの医学部4年生で、会話が出来て楽しみです。

松下滉

アメリカ合衆国、カリフォルニア州、(オレンジ郡)、タスティン市には、⁸⁴年3月から在住し、現在、33年目に入りました。その間、同州、(サン・ディエゴ郡)、サン・ディエゴ市に4年間住んでおりました。

仕事のジャンルはキリスト教牧師としてキリスト教の布教です。当初、こちらへの転任の目的は日本人並びに日系アメリカ人への伝道がその目的でした。ですから私蔵の日本語の参考資料を数多く持参しましたが、アメリカ到着直後に教会の機構改革で、私の仕事はアメリカ人、並びにヒスパニック系アメリカ人への伝道へと変化しました。

ながら、日本、韓国、台湾、香港、フィリッピン、シンガポール、マレーシア、タイ、印度への伝道をしておりました。このときは各国の牧師先生への教育と財務を担当しておりました。この間、これら9か国の通貨とアメリカに本部があるため、アメリカ・ドルを加え、10か国の通貨での報告などをして、グローバルな感覚を身に付けることができました。

アメリカへの転任は「3・5年、でも7年以上はないと思う」とのことでしたが、気がつけば教会の規則である65歳定年を迎え、今では人生の半分弱を日本以外で過ごしたことになります。

定年退職後はアメリカとアメリカ人への感謝を込めて、日本語教師として日本語の普及に努めて、また、「オレンジ郡日系協会」の副会長・財務担当として、オレンジ郡内の日本人並びに日系アメリカ人への文化や敬老精神の普及、また、在ロサンジェルス領事館とともに日系関係の諸行事に参加をしています。

現在の希望は「駒場松桜会」のご許可を得て、近隣の第三並びに駒場卒業生の会を発足させたいと願っております。

照子 DuMont (旧姓 吉見)

71年にアメリカ人の主人が上智大学を卒業してからアメリカにずっと住んでおります。その前独身の時1年ちよつと英語を習うので在米したことがあるの



で、合計46年
以上になり
ます。ここ
らで住んだ
所、いろいろ

とありますが、永かったところはカンザスに19年とワシントンD.C.の郊外、10年でした。

リンカーンには前に4年ほど住んだことがあります。退職した後子供たち、孫たちのいるこの市に戻ってきました。

子供が幼稚園に行った頃から仕事を始めまして、コンピュータのネットワークを30年ちよつとして、その間技術がかわっていくのを多く経験しまして、今思い出してもよくついて行けたなと思います。そのお陰で退屈しないで結構仕事を楽しんでたことは確かです。

今は、いろいろ持病のある主人の面倒を見るのが仕事になって、家族と手助けをし、時々日本人のお友達と集まったりしています。3年前に習い始めた絵を書くのが気晴らしになりました。小鳥や花が好きな題材です。

71	'02	9	・ 母校創立百周年祝賀パーティ開催 ・ ブロンズ像除幕・贈呈式 駒場高校記念絵はがき作成
72	'03	4	・ 母校創立百周年記念式典舉行 ・ 百周年記念 コチロン大会開催 (於 母校第1アリーナ)
73	'03	9	・ 現在の仰光寮の姿
74	'04	4	・ 松桜会講座始まる! — 百周年の意義も新たに — ・ 走る女たち — 駒場出身の女性ランナー
75	'04	9	・ 駒場松桜会創設百周年を祝う
76	'05	3	・ 祝駒場幼稚園創設五十周年 会報一部カラーになる
77	'05	9	・ 松桜会百周年を祝う — 写真集 ・ 偉大な教え手、大村はま先生* 羽島知之 (駒6) ・ 会報オールカラーになる
78	'06	4	・ 「在仏40年、人間の住環境重視の創造建築」 早間玲子 (駒4) ・ ドイツで活躍する 通訳・翻訳家の枕島則子さん (駒19) ・ 第一回 松桜会同窓の集い開催
79	'06	9	・ 「物語る写真を撮る」 リウ・ミセキ (駒16) ・ 「農業」に魅せられて* 天辰正明・仲子ご夫妻 (駒14) ・ 「心を鍛えるのが演劇の役割」 平田オリザ (駒16) ・ 「デザイン」の創世期* 新井明子 (駒4) ・ 旭日大綬章受章にあたり 森山眞弓 (第三41) ・ 張富士夫 (駒7)
80	'07	4	・ 映画監督 柴田昌平 (駒34) ・ 「美味しく食べて健康長寿」 岸朝子 (第三37) ・ 「西方見聞録」 吉武紳吾 (駒10) ・ 「歴史の流れの中で」 加藤登紀子 (駒14) ・ 「青く、深く、限りなく」 津田和忠 (駒25) ・ 「駒場時代の思い出」 加藤欣也 (駒26) ・ 「追憶の断片」 皆川博子 (第三44) ・ 「夢の向こう」 森田泰弘 (駒29) ・ 「半世紀たつて、30年たつて」 室謙二 (駒16) ・ 「心を動かす言葉」 加賀美幸子 (駒11) ・ 「人嫌いから花好きに、花好きから人好きに」 竹下大学 (駒36) ・ 「沖縄移住生活」 竹田真一 (駒29) ・ 「アジア開発銀行での27年」 坂井和 (駒22)
81	'07	9	
82	'08	4	
83	'08	9	
84	'09	4	
85	'09	9	
86	'10	4	
87	'10	9	
88	'11	4	
89	'11	9	
90	'12	4	
91	'12	9	
92	'13	4	
93	'13	9	
94	'14	4	
95	'14	9	
96	'15	4	
97	'15	9	
98	'16	4	
99	'16	9	

杉浦邦恵

(駒13)

'63年に、シカゴアートインスティテュートに入学して、'67年の5月までシカゴにいました。専攻は芸術写真―その頃、専攻に写真をしていった人は私だけ(BFA)でした。

卒業後、ニューヨークに移住、そこで'67年から現在まで49年住んでいます！(自分でも驚きます)しかし、アーティストにとつて、ニューヨークは最高に面白いし、アーティスト人口、画廊数、美術館数も世界一で良い勉強になります。

アメリカも素晴らしいですが、日本もとても興味深い国と思います。同世代とか友人は貴重です。だから駒場の同窓生達とも未だに連絡や親交があるのは本当に嬉しいです。

私は写真をアートとして50年やっていますが、日本では2ヶの画廊(タカ イシイ画廊・鎌倉画廊)で作品を見て下さい。



大窪湖一・久子(旧姓 井上)

(駒19)

'70年〜現在、シカゴ郊外在住。いつも海外住所にまで会報をお届け頂き誠にありがとうございます。

ございます。そして松桜会会報100号達成おめでとうござい

ます。実は'86年の会報に我が家の記事は載せてもらったことがありますが。その後、子供たちは巣立って行きましたので、今はEMPTY NESTにて貿易の仕事が続いています。

神保英雄

(駒22)

30年前に米国に渡り、その間ほぼGEに勤務し、現在デトロイト郊外(West Bloomfield)に居住する。与えられた任務のValue propositionをひたすら磨き走りぬいたGE時代とは打って変わり、癒しの霊気エネルギーが自分の手前から自然に流

茂木むつみ(旧姓 雁金)

(駒25)

'85年に声楽伴奏の勉強のために一年留学するつもりでアメリカに来ました。幸いに道が開け、修士号と博士号を取得し、'94年



れるようになってきた最近、人間の体は神性を帯びた魂、心、肉体

より出ていることをより深く理解し、我儕な心に打ち勝たんと、生きることの本来の目的である魂の神性向上を日々目指したいものである。

笠原純子

(駒8)

若い頃からあちこちへ行ったかったので、仕事をしていた時も、結婚後は主人と共によく旅行しましたが、現在は孫4人の成長が楽しみです。

仕事はNYメトロポリタン博物館にreference librarianとして2年半働きました。結婚後は香港の中文大学でやはり司書として2年半働きました。



オーストラリア

ブローア洋子(旧姓 掃部関)

(駒25)

オーストラリアのシドニーから北に車で1時間半ほどの所に



からコロラド大学に勤務しています。オペラや歌曲の指導が主な仕事ですが、日本歌曲の良さをアメリカ人に知ってもらいたく、小規模ながら日本歌曲選集を出版しました。また、ミシガン大学での恩師、マーティン・カツツの「ピアノ共演法」を日本語に共同翻訳し、音楽之友社から発行しました。

息子もここで生まれ、23歳になりました。ニュージーランド人の主人とは、シリアのアレドポに滞在中に知り合いました。こちらに来て4年ほどシド

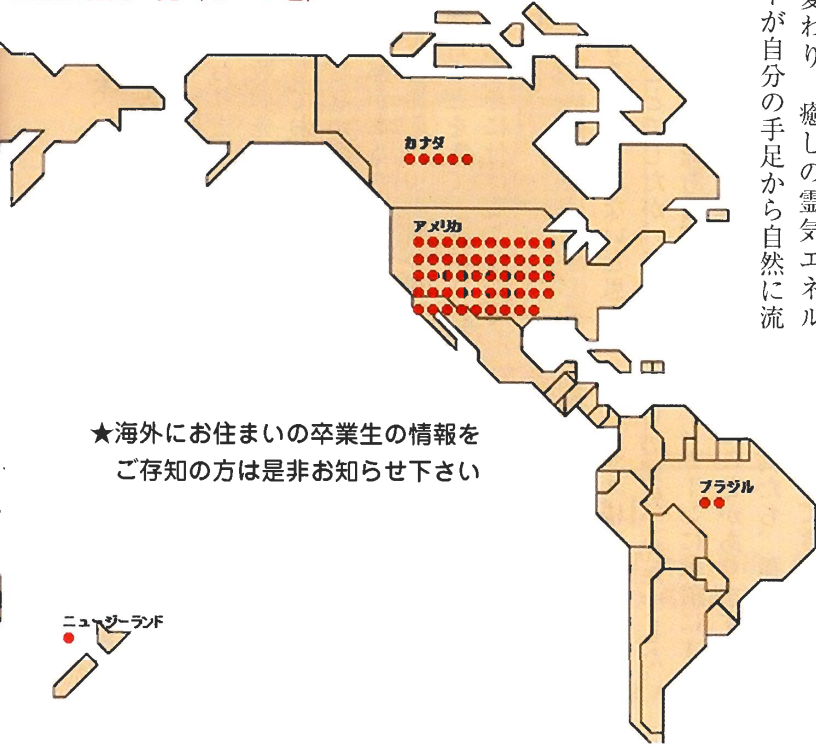
ニーの公立の高校に勤めましたが、今は近くの私立の幼稚園から高校まで一貫教育をしているセントラルコーストグラマースクールで日本語の教師をしています。この学校も20年以上になります。姉妹校が日本に2校あり、日本との交流も盛んです。毎年交換留学が行われていて、今までに多くのオーストラリアの生徒が日本に留学しています。もちろん、たくさんの方の日本人の高校生も留学生としてこちらに来てくれています。

高校時代は陸上競技一筋でしたが、素晴らしく面白い思い出がたくさんあります。冬休み中のトレーニングは特に厳しくて、駒場東大前まで来たのに、そのまま折り返し、家に帰ってしまったことでもあります。



先日何の縁か、息子が駒場の寮に今年の4月から住む

会報送付先一覧(●=1名)



★海外にお住まいの卒業生の情報をご存知の方は是非お知らせ下さい





今後はちよつと働いて、好きな事をしながら、色々なボランティア活動に参加して、加えて幸せています。

ことになったので、息子を訪ねた際、駒場東大前から駒場高校まで、一人で散歩をして、懐かしさでいっぱいでした。学校の帰りにコロッケを食べた肉屋さんもまだありました。その頃、先生に立ち食いしているのが見つかって怒られましたが。今は毎日若い生徒達を相手に、素晴らしい仲間にも恵まれ、楽しく教師をしています。あと何年出来るかわかりませんが、もう少し頑張ろうと思っています。

木村俊三

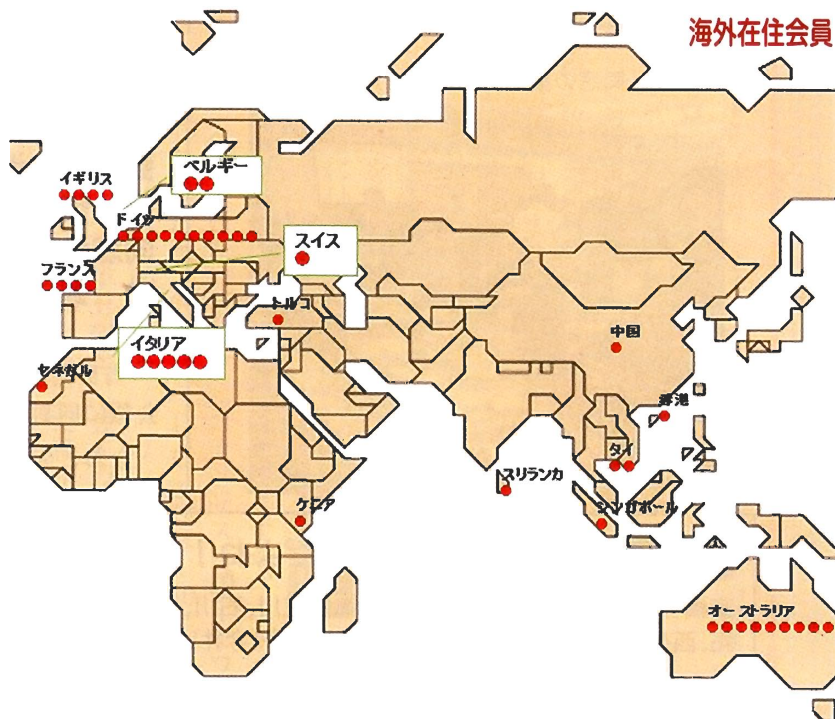
(駒26)

'85年にシドニーに移住し、31年滞在しています。

もともとエンジニアだったのですが、30歳過ぎの日本人男性が職を見つけるのは難しく、何回も転職しました。45歳過ぎて公立ハイスクールで化学、物理、一般科学を教える資格を取り、

今まで約10年間若者の指導をしてきました。教職が自分に一番合っていることが判り、何事もやってみなければ判らないという事を実感しています。

海外在住会員



シドニーに遊びに来て下さい。美しいところです。歓迎します。

スイス

ミユラー大橋知子

(駒15)

'68年にジュネーブにある国際赤十字連盟に就職して以来、スイス滞在は40年以上になります。

現在はスイス、バーゼル市に入學してくる日本人のお子さん達の適応問題に関して、親御さん達の語学面(ドイツ語)でのお手伝いをしています。

今一番気になっているのは、



日本の原発問題です。スイスの脱原発奨励グループを支持しています。

イタリア

中田文

(駒29)

'87年より北イタリア・ピエモンテ州に住んでいます。「アルプスで暮らしたい」という幼い頃の夢はほぼ叶いましたが、骨にしみいる冬の寒さは未だに苦手です。「ヴァカンスのある人生を送りたい」というのも移住



動機の一つで、夏は海へ移動し、太陽をたっぷり浴びて、泳ぎま

ります。友人に声をかけられ、イタリア人に日本語を教えたところ、思いのほか興味深く、現在、日本語教育能力検定試験を突破すべく、受験勉強中です。皆さまのご活躍をお祈りしております。

フランス

早間玲子(駒4) パリ在住

'66年末、フランス政府・日仏交換技術留学生としてパリに着して以来、パリ滞在中も50年を迎えます。3年前に引退、何かに駆られて、淡々と、書き物を始めました。これ続けていくうちに、記憶を正そうと40数年振りに、昔互いに励まし合った同僚に会い、図らずも校友再築に至りました。何かを始めることの大切さを再認識していま

す。フランスはパリテロなどの社会的・政治的な問題を抱えています。歴史的に築かれた揺るぎない真性の自由に兆した環境は、私のパリ滞在中の重厚な根拠となっています。会報発刊の末永



い継続、そして皆様のご活躍、ご多幸を祈ります。在仏、フランス共和国建築家会名誉会員。

宮崎千恵子

(駒18)

'71年3月東京芸大オルガン科卒、同年6月フランス・ストラスブル音楽院に留学。'75年からパリ、'81年ドール、'82年ブザンソン、'85年秋フランス国籍を取得、ロンス・ル・ソニエ市で伴奏ピアニスト・オルガニストとして7年間勤務する。

'92年秋からレーヌ市音楽院ピアノ伴奏者になり、オルガンはやめる。レーヌに15年半勤務し、'08年春60歳で定年退職する。フランスで伴奏ピアニストの職を得たことは、駒場高校音楽科に伴奏の実技があつたお陰です。失業することもなく年金生活を出来ることは感謝しています。

'10年暮れからノルマンディーの小さな町に住み、音楽活動は止める。'13年夏から3年半、大阪万博パビリオン(鉄鉾館)の地下に40年以上解体されて眠っていたフランソワ・パシェ('14)の作品・音響彫刻の修復



企画にフランス側メール連絡係として参加する。

速報! ご出席予定の先生方

(幹事学年の担任・関わられた先生方)

大野(江口)修代 先生(保体)

小野 啓一 先生(物理)

海東 達也 先生(地理)

齋藤いづみ 先生(書道)

佐藤 光一 先生(保体)

柳 久美子 先生(保体)

(50音順)

(現在も順次お伺い中です)

第11回「同窓の集い」予告

みんな集まろう「同窓の集い」第11回!

幹事学年は 駒29・39・49回生

今年は会場を「渋谷東武ホテル」に変えての開催です。

渋谷駅から西武デパート前の雑踏を抜けて、NHKホールに向かう緩やかな上り坂を歩きます。渋谷駅西口前のロータリーから出る京王バス(渋谷63、64中野駅行・中野駅車庫行)もご利用頂けます。(9頁地図参照「神南1丁目」下車)

皆様のご参加をお待ちしております。

昨年度「同窓の集い」の様子**日 時:** 2017年6月4日(日)**会 場:** 渋谷東武ホテル**受 付:** 12時30分～**同窓の集い:** 13時～15時30分**会 費:** 6,000円(第三・未成年 3,000円)

新入会員(駒69)は無料です

当日受付でもお支払いいただけますが混雑が予想されますので、会報に同封の振込用紙にてお振込みいただけますと助かります。

なお、先生方はご招待させていただきます。

駒29 同窓会って不思議だよね!

高橋伸、松本、岡部(井出)、古川(内海)、荒川、石川、角田(石田)、後藤拓、西ヶ谷、本多(吉崎)、矢崎、佐藤(森)、徳野(今井)、佐藤善、樗沢

同窓会って不思議だよね。

長い人生のたった3年間過ごした仲間と再会するだけで、あの頃のワクワクを取り戻せるんだ。

今年は、駒場高校の歴史を作ってきた先輩方や後輩たちと一緒にの会。駒29は、同期会に保体科も参加する結束の固い学年。

前回までの開催に尽力してくれた長谷川君がいないし、早く他界した友達もいるけれど、みんな参加して彼らの分まで楽しもう!

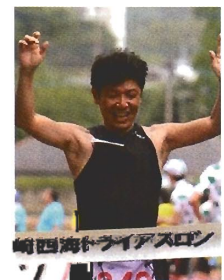
**駒39 『悠悠閑適』 大村・櫻井・平林(浅沼)・岩永(酒井)・内田・田中・杉俣(金澤)**

駒39の皆さま、大変ご無沙汰しております。

年々時が経つのが早く感じますが、今年で卒業後30年を迎えます。(信じ難いですが...)

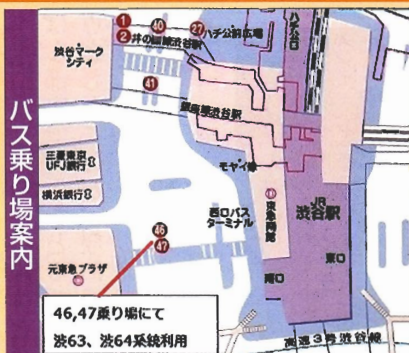
昨年、高校3年の愚息の部活動の試合観戦に行くと、期せずして対戦相手は駒場でした。台風直撃の最悪のコンディションを物ともせず、一心不乱にピッチで競り合う姿を見て、息子と30年前の小生が対戦しているかのような不思議な感覚になりました。同時に、駒場時代の思い出が頭の中を走り、多くの同級生の顔が臉に重なり合いました。私たちも、家庭や職場をはじめ皆それぞれの環境において、何かと忙しく、溜息が出る事もあるかと思えます。ひと時ではありますが、お世話になった先生方、先輩後輩の皆さまと、ゆったり楽しく集い、エネルギーを充填しましょう!

当日、皆さまにお会い出来ることを楽しみにしております。(文:大村)

**駒49 駒49だよ、全員集合! 植田・松岡**

ちはッ!! 駒49の学年幹事を務めることになりました、植田工(陸上部)と松岡大成(サッカー部)です。駒49の皆さま、駒場を卒業してからいつのまにか20年も経ってしまいました。すこし歳を重ねたこの年頃に、ぜひ同窓生や先生方と集まりませんか!?それぞれの20年の歩みを語らいませんか!? 駒49の皆さま、6月4日(日)だよ全員集合です!! ☆木下多恵さん、福田美穂さんにも学年幹事にご協力頂いていますよ!



**会場：渋谷東武ホテル**

地下2階「鳳凰の間」

東京都渋谷区宇田川町3-1

TEL 03-3476-0111

○交通

渋谷駅「ハチ公口」より徒歩7分

バス(西口ターミナル「46・47」乗り場)
神南一丁目下車(進行方向へ1分)

♪♪♪ 2016年度 駒場松桜会コンサート報告 ♪♪♪



次回「松桜会コンサート」について
2017年11月25日(土)に予定しております。
詳細が決まりましたら、ホームページに掲載し、会報第101号にてお知らせいたします。

11月としては54年振りの雪が東京に降った週末の11月26日(土)に、東京オペラシティリサイタルホールに矢村万意子さん(駒42)とゲストに矢村さんの師匠でもある水村繁子さん(駒32)をお迎えして、駒場松桜会コンサートが開催されました。

真っ暗になったほぼ満員の会場にギターの音色と共に、矢村さん、水村さんのお二人が颯爽と客席の後ろからステージに登場されてフラメンコライブは始まりました。

最初の曲は、フラメンコの代表曲「Alegrias」。4人の踊り手とギター、歌手が一体となすライブで会場は、外の冬の様な景色から太陽の照りつける様なスペインの風景へと一転しました。

続いて、ギターのソロ演奏による一曲。心に染み入る様なギターの音色に会場は静まりかえりました。

3曲目は舞台を絵画の様にさせる「Cuadro flamenco」。激しいタップと呼応する優雅に舞う扇の動きに目を奪われました。

続く「Rumba」では、踊り手である水村さん自らが唄いながらの踊りに、会場はますます惹きつけられました。

変わって「Soleá por buleria」では、男装した矢村さんによるステッキを操っての素晴らしい踊りに、往年のミュージカル映画を彷彿とさせられました。

そしてフラメンコの名曲「Soleá」。赤いドレスに包まれた水村さんの踊りが周りからの手拍子と共に段々激しくなっていくさまが素晴らしかったです。

矢村さんのステージでのご挨拶は、熱い踊りと華やかな衣装とは打って変わっての駒場女子のチャームな語り口。なぜかホッとしてしまいました。

休憩無しに続いたフラメンコの空間は、あっという間に最後の出演者全員によるセビリアの春祭りの踊りとなり、鳴り止まぬ会場の皆さんからの拍手の中で公演を終えました。

初めてフラメンコを堪能された観客の皆さんも多かったと思いますが、皆さん笑顔と暖かくなったハートを胸に、冬の寒さを忘れて家路に就かれた事と思います。

コチロン特別練習の報告

2016年10月11日(火) 駒場高校生徒ホールにて

谷村政次郎氏(駒9)による「コチロン」を伴奏した楽隊についての講演を拝聴しました。府立第三高女時代には軍楽隊による生演奏でコチロンを踊っていた事などコチロンの歴史を改めて感じるお話でした。第三33から駒30までの参加者34名は昼食会、コチロン練習と世代を超えて伝統のダンスを通じて貴重な楽しい時を過ごしました。

合宿はしばらくお休みいたしますが、初めての同窓生も毎月の練習にぜひご参加ください。

●コチロンを踊る会 練習日

日時 4、5、6、7月

毎月第3火曜日、月1回土曜日、午後2時より4時

会場 駒場高校生徒ホール(変更の場合は掲示します)

**都駒祭参加報告**

2016年9月10・11日

2016年度も学校のご協力を得て参加しました。

203教室の「お休み処」では、お茶を用意し、壁にはリオ・オリンピックメダリストの号外を羽島知之氏(駒6)からお借りして展示しました。『仰光寮公開』では、香淳皇后の掛軸「桃の春」を床の間に飾り、併せて駒14有志の方々による美術展を催しました。五大陸前での「コチロンドンダンス・デモンストレーション」では、第三33～駒24の同窓生30名が、安部校長先生始め多くの方々に見守られる中、伝統のダンスをいきいきと披露されました。



講演会の報告

2016年11月5日(土)に駒場高校PTAとの共催による講演会が元芸術高校ホールにて開催されました。

村上純君(駒51)の母校凱旋

拍手と歓声の中「しずる」の村上純が現れた。お笑いの世界で大活躍の駒場卒業生による、母校での講演会だ。

入学当時はサッカー部に入り、SDカードのような(端が欠けた)グラウンドで練習を始めたが、すぐに自分の力量不足に気付いた。以後はもっぱら部室で笑いをとることに専念したことが、今に通じているという。

講演会は、観客とのコミュニケーションを中心に進み、



筆者も楽しくお話をさせていただいた。高校生からは「住所を教えてください」との無茶な質問も。気分が乗り始めると話が止まらなくなる習性らしく、大幅に時間オーバー。最後は高校時代のユニフォームなど思い出の品々を、気前よく観客にプレゼント。

村上君、上下関係も厳しい世界のようにだけど、独自のスタイルで世の中に笑いを発信し続けてね!

松本能文(駒29)

★冊子「コチロン」について

昨年完成した冊子「コチロン」は、お蔭様で約400冊を配布いたしました。

まだ約200冊ございますので、ご希望の方には冊子500円、音楽CD100円、送料100円でお分けいたします。松桜会事務局までお問い合わせください。



新入会員から



駒69—3 ホーム 望月 凌



駒場高校に入学したことが自分の人生にとって一番のターニングポイントであると思います。駒場での生活や出会いは自分を大きく変えました。

私が所属していたサッカー部では毎日朝早くから活動し放課後も遅くまで練習して、とにかく辛い日々でした。必死に練習しても報われないことの方が多く、自分を見失う時もありました。そんな時に支えになったのは、ともに闘う仲間の存在でした。勉強においても自分を突き動かしたものは仲間には負けたくないという気持ちでした。

駒場に来て一番良かったと思うことは、切磋琢磨し合える仲間と出会えたことです。駒場高校で志高い仲間と3年間共に過ごした日々は私にとって一生の財産になりました。

駒69—5 ホーム 桑山 由香



振り返ってみると、駒場での3年間はとてもあっという間で、またとても充実しているものでした。

まず何よりも学校生活の軸であったのは部活動です。百人一首部と文芸部に所属していました。百人一首部では全国大会を目指し、毎日毎日かるたをしていたのに比べ、文芸部では先輩方がいなかったため、自分

たちで何をするか考え自由に活動していました。どちらも毛色は全く異なりますが、一つのことには打ち込み、努力し続けた達成感も、自分で企画し行動する充実感も、これからの私を支え続けてくれる大切なものだと思います。

私は、駒場で過ごすうちにすっかり体に染み付いた「ホーム」という言葉が大好きです。家族のように支えてくれた同級生や、見えないところでもサポートしてくださった先生や先輩方に感謝を伝えたいです。ありがとうございます。

駒69—保体科 橋本 朋子



駒場高校に入学し、多くの出会いがありました。あつという間に3年生になり、卒業です。こんなに時間が経つのが早いと思ったのは初めてでした。

所属していた陸上競技部では、記録に伸び悩んだり部をまとめられない自分に落胆したりと、上手いかわないこともたくさんありました。しかし、嬉しい時も辛い時も仲間がいて、頑張れる環境がありました。だからこそ、どんなに大変でも心から楽しめたのだと思います。また、保健体育科の生徒としても実習や行事を通して礼儀や社会性などを学びました。どの経験も今の自分にはなくてはならないものです。

こんなにも多くの経験とかげがえない仲間をくれた駒場高校に、感謝の気持ちでいっぱいです。この3年間で学んだことを胸に、大学生活でも自信を持って頑張りたいと思います。

……PC ワンポイントアドバイス②……

編集委員 平戸伸幸(駒41)(情報セキュリティ会事務)

《コンピューターウイルスについて》

コンピュータウイルスは利用者の隙あらば PC に侵入しようと狙っています。対策としてワクチンソフトを入れるのは既に常識ですが、それだけで安心は禁物。今や日々現れる新種のウイルスに、対応する更新が間に合わなければワクチンも無力です。

とはいえ徒に心配するよりも、むしろ感染してしまった場合には躊躇なくディスクを初期化して始めからやり直せるよう、普段からバックアップを確実にしておくことの方が大切です。

「駒場松桜会フェイスブック」について

駒場松桜会ではフェイスブックの運用をしております。今後、正式に運用する場合には当会報にてお知らせいたします。

「せんせい」「同窓生スピリット」「医療のいまどき情報」「地方支部から」はお休みさせていただきます。

母校生徒の活躍 (1月現在)

- 体操競技部
 - ・東京都種目別大会
 - 男子個人総合第4位
 - 女子個人総合第1位・第4位
 - 女子秋季大会 団体総合第1位
 - ・個人総合第1位・第4位
 - ・男子新人大会兼全国選抜予選大会 団体第2位
- 柔道部
 - ・関東大会東京都予選
 - 男子個人無差別級・81kg級 ベスト8
 - ・全国大会東京都予選
 - 女子団体第3位
- 剣道部
 - ・東京都国公立夏季錬成剣道大会
 - 男子個人無段の部準優勝
 - 女子個人二・三段の部優勝
- 陸上競技部
 - ・東京都新人選手権大会
 - 女子三段跳び第5位(関東大会出場)
- 水泳部
 - ・東京都大会(4種目関東大会出場)
 - ・全国JOCジュニアオリンピック
 - 東京都予選
 - 個人100m背泳ぎ(全国大会出場)
 - 関東選手権大会
 - 男子400mメドレーリレー・男子200m個人メドレー 女子400mフリーリレー
 - (以上 全国大会出場)
- 百人一首部
 - ・全国かるた新春大会 C級第3位
- 駒場フィルハーモニーオーケストラ部
 - ・日本学校合奏コンクール全国大会
 - ・グランドコンクール高等学校の部 銅賞
- 演劇部
 - ・東京都高校文化祭演劇部門中央発表会中央委員会賞
 - ・(高校演劇サミット出場)
- 新聞局
 - ・東京都高校新聞コンクール
 - ・東京新聞賞 東京都第2位(全国大会出場)

これからも母校生徒の応援よろしく願っています!

◆同期会開催のご案内◆

駒五の会

日時 5月18日(木)

12時~14時30分

受付開始 11時30分

代々木倶楽部(小田急線参宮橋駅)

会費 8,000円(当日)

申し込み締め切り 4月30日

駒14同期有志の会(紫陽花会)

日時 6月24日(土) 12時~

会場 白金台 セカンドハウス

港区白金台4-9-10

会費 5,000円

問い合わせ先 辻井典子

TEL・FAX

03-3711-1047

メール nori_tjin@yahoo.co.jp

駒16同期会

5月20日(土)に渋谷のエクセルホテル東急で13時~16時に開催します。

今年は、修学旅行の思い出から55年、「青春時代のあの笑顔にまた会いたい」を合言葉に、楽しい会になるよう多数の皆様のご参加をお待ちしております。

同期会幹事・事務局

駒17同期会

左記の要領で同期会を開催します是非皆さんで古稀を祝いましょう

日時 5月20日(土)

13時~15時

場所 渋谷東武ホテル

会費 8,000円

090-7838-0997

代表幹事 滝口孝一

E-mail: purimerai4@yahoo.co.jp

寄付者芳名

2016年7月以降本年2月末までに、22名の皆さまから合計23万8400円のご寄付をいただきました。皆さまのご協力に心より感謝申し上げますとともに、引き続き松桜会の活動にご支援賜りますようお願い申し上げます。

第三26	藤原 ちか
第三45	水谷 孝子
駒2	岩井 頼子
駒2	原澤 知子
駒3	新谷 弘子
駒3	早川 淑子
駒4	植地 モト
駒4	雨宮 綾子
駒5	藤久 ミネ
駒6	阿部 長太郎
駒6	田中 久美子
駒7	友坂 キミ子
駒7	小松 榮子
駒7	原島 悦子
駒9	山本 博
駒18	新妻 紀子
駒19	重広 穂子
駒19	大窪 湖一
駒22	大窪 久子
駒26	岡部 研一郎
特別会員	木村 俊三
特別会員	マリア宮城・バートラフ

松桜会年会費免除のお知らせ

松桜会年会費は当該年度中に80歳を迎える学年より免除となります。(今年度は駒8回およびこれより上の学年の皆さまが年会費免除会員です)

なお、一口千円からのご寄付を承っております。今後ともご支援よろしく願っています。

松桜会講座 受講生の声

『女性作曲家とジェンダー』

「クラシック」の常識を問い直す」を受講して

松桜会会報の楽しみは講座のお知らせです。私の興味をひくものなるべく受講しています。昨年今年とクラシック音楽と女性に関する講座を受講し、音楽と女性に対する考えが少し変わりました。

講師の小林緑先生は私が音楽科に入学した年に卒業された方でした。あの頃は金管楽器は男性のものと思われ、私はそういうものかと思っていました。ところがいつの間にか女性の金管楽器奏者は珍しくなくなりました。

今年の夏の講座の女性画家、メアリー・カサットは、女性ゆえ才能を認められない苦労があったそうです。私達が先進国とされているヨーロッパでもかつて芸術は男性が中心だったということ、そして日本はまだにそれが変わっていないということが多かった。音楽を勉強した者として考えさせられることが多く、楽しい講座でした。

高橋 菊代(旧姓 大村)(駒16)

『JR山手線の駅から歩く路地めぐりⅡ』

―田町・浜松町・新橋駅―に参加して

宮部みゆき著「平成成徒歩日記」にめぐり逢い、本の通りに吉良邸から泉岳寺まで歩きました。鎖帷子を着てこんなに歩いたのかと、お江戸の人を身近に感じる事ができ、他のルートも幾つか挑戦してみたい。その後この企画を知り、参加しました。

田町駅の待ち合わせ場所に同好の士が多くいるのに驚きました。適度な距離を2時間で歩く見所満載なコースを設定した幹事の技量と歩いた街の変わりようにまた驚き、次回が楽しみにになりました。塩竈神社を始め、江戸人が大切にしていたものが寂れ失われてゆく在りように心痛め、文明開化とその後、良くも悪くも、より新しくより便利にという日本人のエネルギーと技術に感嘆しました。私たちの来し方行く末にまであれこれと想いをめぐらせた貴重な体験でした。

幹事の方々の人ななな調査と案内書作成、その上当日の体調管理まで、大変な準備には頭がさがります。改めてお礼を申し上げます。

砂田 和江(旧姓 西村)(駒17)

松桜会講座のお知らせ(平成29年度上期)

4/15(土)
締切

対象者: 駒場松桜会会員・母校教職員・PTA会員 他

申込方法: 往復はがきに、次の内容を記入してください。

①講座名 ②郵便番号・住所 ③携帯及び固定電話番号 ④氏名

⑤会員—卒業回 教職員—所属 PTA会員—お子様の氏名・学年・ホーム

☆返信はがきに宛先の住所・氏名を記入してください。1つの講座につき1枚でお申し込みください。

申込先: 〒153-0044 目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校内(財)駒場松桜会事務局

A 講座 講師

荻原 千鶴(駒22)

お茶の水女子大学卒・同大学院修了。日本上代文学専門。上代文学会賞・日本古典文学会賞を受賞。上代文学会代表理事などを歴任。元お茶の水女子大学教授。島根県奥出雲町特別顧問。

「風土記」を読む —『出雲国風土記』の世界—

奈良時代の初めに朝廷から、各国の土地の概況について報告せよ、という命令が下りました。命令を受けて出雲国で作った報告書が『出雲国風土記』で、神々の話が多く記されています。古代の人々の想像力が、土地という舞台の上のように繰り広げられるのか、考えてみたいと思います。

この講座にもとづいて、下期(10月)には出雲への研修旅行も、別途企画しています。

第1回 『出雲国風土記』の世界

第2回 杵築大社(出雲大社)の創建

第3回 黄泉への入り口

第4回 唾のこどもの話

定員: 30名

受講料: 2,000円

会場: 母校東館和室

10:30~12:00

6/3(土)・6/10(土)

7/1(土)・7/8(土)

特別企画講座

『出雲国風土記』の旅

出雲の古代文学故地を講師の案内でめぐる二泊三日の旅。現地の専門家の方々からの特別解説、出雲大社特別参拝、熊野大社鑽火祭参拝・秘湯宿泊など、普通ではなかなか体験できない旅です。

講師: 荻原千鶴(駒22)

期日: 2017年10月13日(金)~10月15日(日)

集合: 現地集合(出雲空港9:00または古代出雲歴史博物館前9:30)

解散: 現地解散(出雲市駅15:10または出雲空港15:40)

費用: 57,000円(貸し切りバス代、二泊三日の宿泊・食事代、入館料等を含む)

ご自宅・現地間の往復費用や保険料等は含まれていません。

定員: 38名

申込締切: 4月20日(木)

往復はがき(住所・氏名・卒業回・携帯及び固定電話番号明記)で返信はがきにも宛先を記入の上、松桜会宛お申し込みください。参加は会員に限ります。定員オーバーの場合は先着順とし、参加の確定した方に資料をお送りします。

B 講座

講師

金城 靖子(駒16)

東京藝術大学美術学部彫刻科卒・同大学院・研究科修了。公募展、グループ展、個展にて作品発表をしている。

八丈島園芸技術センター前庭(ブロンズ像)、知床昆沙門堂本尊(木彫)、八丈町立永郷小学校記念碑(石彫)等

現在NHKカルチャー横浜ランドマーク教室「はじめての石彫」

レリーフ(浮き彫り)を楽しむ —軟らかい素材で—

自由な発想でソフトセラミックスボード(158×227×12)mmを彫刻刀で彫りながら、アクリル絵の具を使い仕上げる。

第1回 ボード裏面に彫刻刀で彫り具合や絵の具を使ったりしながら、レリーフの構想を練る。講師作の参考作品を用意します。

第2回 構想にしたがい彫り進める、絵の具も使う。

第3回 第2回の続きを進める。

第4回 レリーフをまとめる。

定員: 20名

受講料: 2,000円

教材費: 800円

会場: 母校生徒ホール

10:30~12:00

5/13(土)、5/27(土)

6/24(土)、7/22(土)

C 講座

企画

講座部会

国立劇場 文楽公演観賞

演目

ことぶきはしらだてまんざい すがわらでんじつてならいかみ
寿柱立万歳 菅原伝授手習鑑

筧酒の段・喧嘩の段・訴訟の段・桜丸切腹の段

六代豊竹呂太夫襲名披露口上

寺入りの段・襲名披露狂言寺小屋の段

日程: 5/19(金) 11:00~

定員: 25名

観劇料: 6,300円

(正価 7,000円)

会場: 国立劇場小劇場

(半蔵門)